



2022年5月27日
東日本旅客鉄道株式会社
千葉支社

2022年度 公益財団法人東日本鉄道文化財団 地方文化事業支援 「地方文化事業支援承認書贈呈式」の開催について

JR東日本千葉支社は、公益財団法人東日本鉄道文化財団と連携し、1993年度よりJR東日本エリア各地の貴重な文化遺産や民俗芸能などの保全と継承、地域の発展を図るため支援を行ってきました。

このたび、2022年度支援事業として、千葉県富津市「千葉県指定文化財「三柱神社本殿」等再建事業」及び南房総市「日枝神社拝殿修復事業」に対して支援を行うことが決定しましたので、承認書贈呈式を執り行います。

1 承認書贈呈式について

(1) 「千葉県指定文化財「三柱神社本殿」等再建事業実行委員会」への承認書贈呈

【事業名】千葉県指定文化財「三柱神社本殿」等再建事業

【日程】2022年6月1日(水)

【場所】竹岡コミュニティセンター(富津市竹岡473-1)

【事業内容】三柱神社本殿屋根柿葺の復旧



拝殿



仮宮

～富津市「三柱神社」について～

○三柱神社は、養老3(719)年の創建と伝えられ、安房大神(天太玉命)、天比理刀咩命、下立松原神(天日鷲命)を祀る神社で三社大明神、三所大明神とも呼ばれています。

○構造は、身舎と向拝の屋根が一体となっている三間社流造で、屋根は柿葺としています。近世初期の様式が随所に見られる社殿であり、棟札の写しによると寛文10(1670)年の造営とされており、千葉県の指定文化財にも指定されています。

○平成25(2013)年10月16日の台風26号の豪雨により大きな被害を受けた本殿屋根柿葺の修復を支援し、貴重な文化財の保全、観光拠点として地域活性化を図ります。

(2) 「日枝神社拝殿修復事業実行委員会」への承認書贈呈

【事業名】日枝神社拝殿修復事業

【日程】2022年6月13日(月)

【場所】白間津コミュニティ集会所(南房総市千倉町白間津838-1)

【事業内容】日枝神社拝殿の屋根、歪み、床及び天井の修復



拝殿



向拝の彫刻

～南房総市「日枝神社」について～

○日枝神社は、平安時代前期の延喜元年(901)の創建、山の地主神で農耕を司る神でもある大山昨命が祀られています。

○四年ごとに行われる「白間津のオオマチ(大祭)」は、国指定重要無形民俗文化財となっています。また、向拝の彫刻は、全国的にも有名な千倉の名工、初代後藤義光の作であるほか、拝殿正面の社号額は勝海舟の揮毫によるものです。

○2019年の台風15号等で被災した本殿の修復を支援し、貴重な文化財の保全、観光拠点として地域活性化を図ります。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、承認書贈呈式が延期または中止となる場合がございます。予め御了承ください。

2 東日本鉄道文化財団の地方文化事業支援について（参考）

公益財団法人東日本鉄道文化財団は、1993年度より地方文化の振興を目指し、JR東日本エリア各地の貴重な文化遺産や民俗芸能などの保全と継承、地域の発展のためにJR東日本各支社が選出した事業に対し、資金援助を行う形で地方文化事業の支援を行っております（2021年度末時点で256件を助成）。

千葉県内においては、香取市「^{さわら}佐原の^{だし}山車」、いすみ市「^{ぎょうがんじ}行元寺」「^{いづなでら}飯縄寺」、南房総市「^{たかべ}高家神社」、勝浦市「^{とみさき}遠見岬神社」、佐倉市「^{はちまんたろうよいえ}八幡太郎義家山車人形」「^{あいのまち}間之町祭礼用締太鼓」、南房総市「^{こまつじしょうどう}小松寺鐘楼堂」、館山市「^{めらさき}布良崎神社神輿」、富津市「^{のこざりやまいわぶたい}鋸山岩舞台」、大網白里市「^{みやざくはちまんじんじや}宮谷八幡神社」、君津市「^{じんやじ}神野寺」等を支援してまいりました。



鋸山「岩舞台」（2020年度支援）



神野寺本堂（2021年度支援）

※ 写真はすべてイメージです。